

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 061	提案機関名 小田原市産地協議会
要望問題名 イセエビ、アワビ、サザエの蓄養試験	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 小田原市漁協が平成29年度開業を目指し整備を進めている漁獲物荷捌き施設、水産物加工処理施設において、国庫補助事業である「産地水産業強化支援事業」を活用する。当該補助事業では、漁業者団体、市町村、関係者からなる産地協議会により「産地水産業強化計画」を作成し、所得の向上、地先資源の増大、6次産業化又は漁村の魅力向上に資する取組を支援するものとされている。 国庫補助事業の手続き状況としては、平成26年12月17日に漁協、魚市場、県、市等が構成員となり、「小田原市産地協議会」を設立し、諸検討を行い、平成27年4月21日付けで水産庁より産地水産業強化計画の承認をいただいたところである。 当該計画では、ハード事業において、小田原市漁協が事業主体となり、加工施設及び荷捌き施設の整備を行うとともに、ソフト事業では、マーケットの開拓や実践的知識、技術の習得等の取組を実施予定であり、取組のひとつとして、イセエビ、アワビ、サザエの蓄養試験を行うこととしている。 イセエビ、アワビ、サザエは、禁漁期や水揚げの少ない時期に供給が可能となれば、売上確保と単価上昇が期待できるが、そのためには、採算性と品質を伴う蓄養技術の開発が課題となるため、水産技術センター相模湾試験場に、低コストで安定した蓄養技術を開発するための蓄養試験の指導をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	相模湾試験場
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	現在、整備が進んでいる小田原漁港の蓄養水面において、蓄養を実施していくための技術開発等の試験について協力していく。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			